

AJU自立の家

楽しくなければ福祉じゃない
COEXIST



お問い合わせ

サイト内検索

検索

AJU自立の家

後援会

TOP

役員紹介

主催行事

会員募集

寄贈等

お問い合わせ

トップ

AJU
自立の家とは

イベント情報

AJUが
あなたにできること

福祉ホーム
サマリアハウス

デイセンター
サマリアハウス

わだち
コンピュータハウス

ヘルプステーション
マイライフ 各支所

福祉用具貸与事業所
車いすセンター

自立生活
情報センター

ピア名古屋

居宅介護支援事業所
ほかっと軒

名古屋マック

後援会

AJU
車いすセンター

障害者110番

アジア障害者
支援プロジェクト

災害時要援護者
支援プロジェクト

リサイクル情報

AJU出版物のご案内

ウェルフェア・コンサート

第16回(2007年)出演者プロフィール

神津 善行「AJU自立の家 音楽監督」(構成・演出・司会)

[第18回 出演者プロフィール](#)を参照ください。



前橋 汀子 ヴァイオリン



日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その演奏は優雅さと円熟味に溢れ、多くの聴衆を魅了してやまない。

5歳から小野アンナにヴァイオリンを学び、その後、桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校を通じて斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナールに師事。17歳で旧ソ連国立レニングラード音楽院(現 Санктペテルブルグ音楽院)創立100年記念の一環として、日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで3年間学んだ。

ここではヴァイオリンのテクニックのみならず、芸術全般にわたり幅広い基礎教育を受け、これが今日に至る前橋汀子の音楽的姿勢に大きな影響を与えたといっている。

その後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・ディレイ等の指導を受け、さらにスイスでヨーゼフ・シゲティ、ナタン・ミルシテインの薫陶を受けた。

レオポルド・ストコフスキーの指揮により、ニューヨーク・カーネギーホールで演奏会デビュー。国内外で活発な演奏活動を展開し、世界各国の代表的なオーケストラとの協演も数多く、ベルリン・フィル、英ロイヤル・フィル、フランス国立管、クリーブランド管、イスラエル・フィル等々枚挙に暇がない。指揮者もメータ、ロストロポーヴィチ、ケンペ、サヴァリッシュ、マズア、小澤征爾ほか多彩なマエストロたちと協演している。スイス・ロマン管弦楽団とともに国連コンサートに招かれ、その演奏の様子は全世界に放送された。

また、レニングラードの変貌ぶりをレポートしたNHKテレビ番組『前橋灯子・わが心の旅』は多くの人々に感動を与えた。2006年12月にはテレビ朝日系『SmaSTATION-6』に出演、これまでの活躍ぶりが紹介された。

講演会・講座案内

所在地案内

リンク

レコーディングにも意欲的に取り組み、デビューアルバム『チゴイネルワイゼン』、文化庁芸術作品賞を受けた『バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全集』、その他『ヴィヴァルディ:四季』、『メンデルスゾーン&チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲』、『ヴァイオリン小品100曲選シリーズ全6巻』等々がある。それ以後、東京/サントリーホール、大阪/ザ・シンフォニーホールをはじめとする日本各地のホールで、これまでクラシックコンサートにあまり馴染みのないお客様にも楽しんでもらえるよう、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを開催。特に自身の企画によるサントリーホールでの「アフタヌーン・コンサート」は大好評、今年2月で3回目を数え、2008年4月には4回目を予定している。一方、ヴァイオリン音楽の原点ともいえるJ.S.バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスなどの作品の研究にもさらに力を注いでおり、イェルク・デームスとベートーヴェンのソナタを、アナトール・ウゴルスキとブラームスのソナタ全曲を共演。また、ブダペスト、東京に於いてフランツ・リスト室内管弦楽団とモーツァルトの協奏曲を協演し、好評を博した。2007年9月には王子ホールにてJ.S.バッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ全6曲」全曲演奏会が予定されている。

2004年これまでのヴァイオリン奏者としての演奏活動に対し、日本芸術院賞を受賞。

現在、大阪音楽大学教授として後進の指導にもあたっている。(2007年2月)

加藤 洋之 ピアノ



東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学器楽科を卒業。在学中に「安宅賞」を受賞し、日本音楽コンクールに入選。1990年よりハンガリー国立リスト音楽院に留学し、イシュトヴァン・ラントシュ氏に師事した。

同年ジュネーヴ国際音楽コンクールに第3位入賞後、本格的な演奏活動が始まる。1993年のルセ国際音楽祭に招待されブルガリア国立放送響と協演した後、ブダペスト・フィルやヘルシンボリ響(スウェーデン)の定期公演への出演、ハンガリー国立響をはじめとする内外のオーケストラとの協演を重ね、また東欧各地においてリサイタル、放送への出演等の演奏活動を行った。1996年ドイツのケルンに移り、パヴェル・ギリロフ氏に師事する傍ら室内楽の演奏にも力を入れ始め、ドイツ各地や、イタリア、スイス、オーストリア、スペイン等で演奏会や放送への出演、録音を行い、2001年にはリムーザン国際室内楽フェスティバル(フランス)に招かれる。

ウィーン・フィルのメンバーたちとはしばしば室内楽を共演し、特に第一コンサートマスターのライナー・キュッヒル氏とは2001年以来、デュオ・パートナーとして数多くの演奏を重ねてきており、2002年12月のウイグモア・ホール(ロンドン)へのデビューは“THE TIMES”紙上にて絶賛を博し、2005年のウィーン・フィルハーモニー・ウィーク・ジャパンの一環として開催された室内楽コンサートには、メンバーたちと共に出演した。

[第15回](#) ← [出演者紹介] → [第17回](#)

お知らせ

・

・

.....

AJU自立の家 法人本部



〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

 お問い合わせ